

2025年大阪・関西万博に向けた 兵庫のアクションプラン ver.1



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs

2023年2月7日 兵庫県



- I アクションプランの概要・位置づけ
- II 各事業展開
 - 1 ひょうごフィールドパビリオンの展開
 - 2 兵庫棟(仮称)、兵庫県立美術館における魅力発信
 - 3 「兵庫県版テーマウィーク」による魅力発信
 - 4 「子どもの夢」プロジェクトの実施
 - 5 機運醸成事業の実施
 - 6 推進体制の構築
- III 施策体系別一覧
- IV ロードマップ
- V 万博開催に向けた兵庫の取組みのKPI

- ◆ 「2025年大阪・関西万博」に向け、現時点で兵庫県が実施を予定している関連事業をとりまとめたもの
- ◆ 令和5年度当初予算編成にあわせてver.1を公表し、2025年度までのロードマップも記載
- ◆ 必要に応じ、随時更新(テーマウィーク事業の公表、予算編成等)し、取組みを具体化
- ◆ 2023年3月に全県推進協議会(仮称)を設置し、県、市町、民間事業者等関係者と方向性を共有、連携し、兵庫の取組みを推進



▲山田錦



▲但馬牛

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開 (1) プログラムの磨き上げ

- ・地域の「SDGsを体現する活動の現場そのもの(フィールド)」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を展開する。
- ・認定したプログラムは、国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラムになるよう、プログラム提供者やサポート人材への研修、商品化支援などの磨き上げを行い、受け入れ体制の向上に取り組んでいく。

「ひょうごフィールドパビリオン」プログラムの認定 (R5.2月に第1次認定予定)

※以降も、万博開催まで募集・認定を継続

プログラムの磨き上げ【R5年度事業費：19百万円】

(1) サポート人材の発掘

認定プログラムをサポートする人材を発掘するための説明会等を開催

(2) 人材育成研修

① プログラム提供者研修

説明力向上研修、来訪者受入研修（多言語対応・キャッシュレス対応）など「おもてなし力」の向上を図る研修を開催

② サポート人材研修

各プログラムに対応したランドオペレーター等観光関係者や通訳案内士等（サポート人材）を育成する研修を開催

(3) 商品化支援

① プロモーションプロデューサーの設置

効果的なプロモーションに向け、専門家を招聘。ターゲット設定、ターゲット別のブランディングを実施

② インバウンド対応に向けたアドバイザーの派遣

インバウンド目線による磨き上げを行うため、外国人アドバイザーを派遣

③ モニターツアーの実施

各プログラムの課題を把握し、誘客に向けた必要な取組を洗い出し、改善するためのモニターツアーを実施



伴走型の支援を行い、国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラムに仕上げる

ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
① サポート人材の発掘	人材発掘開始	→ 順次、プログラム提供者の支援	
② 人材育成研修	研修の実施		
③ 商品化支援	モニターツアーの実施	後はファムトリップで対応	

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開 (2) プロモーションの展開

- ・「ひょうごフィールドパビリオン」を国内外に積極的にプロモーションし、万博を契機とした兵庫への誘客を促進。
- ・海外プロモーションにあたっては、友好・姉妹提携の状況や、訪日外国人客数を踏まえてターゲットを設定し、展開。

プロモーションの展開【R5年度事業費：85百万円】

(1) 海外プロモーションの展開

① 知事トップセールスの実施

知事の海外出張に併せて、現地の旅行エージェント等を対象に観光セミナー等を開催

② 旅行博への出展

海外で開催する主要な旅行博に出展し、現地のエージェント等にフィールドパビリオンの魅力をPR

③ ファムトリップ、メディアファムの実施

海外エージェントやメディアを招聘し、フィールドパビリオンを中心としたファムトリップを実施



(2) 国内プロモーションの展開

① 航空会社・船会社と連携したプロモーション

就航先でのプロモーションイベントの開催

② メディアファムトリップ

メディアを対象にファムトリップを実施するとともに、著名人・インフルエンサーを対象とするプレツアーを実施

(3) 広報素材作成・WEBサイト等による情報発信

- ・専用サイトの構築
- ・広告・SNS等を活用したプロモーションを展開
- ・広報用のプロモーション動画や販促グッズ等の作成

国内外への積極的なプロモーションを行い、ひょうごフィールドパビリオンをはじめとした兵庫への誘客を促進する

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① 海外プロモーションの展開	欧米豪中心	アジア中心	ファムトリップの実施
② 国内プロモーションの展開		就航先プロモーション、	ファムトリップ実施
③ 広報素材作成・情報発信	素材作成、サイト構築、順次情報発信		

2 兵庫棟(仮称)・兵庫県立美術館における魅力発信

・万博会場の兵庫棟（仮称）と県内拠点である兵庫県立美術館において、**ひょうごフィールドパビリオンや県内企業の最先端技術など、兵庫の多彩な魅力を展示を通じて発信。**

・また、会場内でのトークセッションやイベントの展開など、効果的な誘客施策をあわせて検討。

兵庫棟(仮称)・兵庫県立美術館における魅力発信【R5年度事業費：55百万円】

<R5事業費：①展示設計費：24百万円、②展示制作費：31百万円/R6債務負担行為：展示制作費351百万円>

兵庫棟 (仮称)

関西パビリオン内（面積：約160㎡）

- ・**最新映像機器等を活用した全天周の圧倒的な映像**で臨場感を演出し、「兵庫に行ってみたい」と来場者に強く印象づけるような展示

- ・フィールドパビリオンプログラム提供者等とのトークセッションなども検討



関西パビリオン（イメージ）

[提供：関西広域連合]

兵庫県立 美術館

兵庫県立美術館内 3Fギャラリー
（面積：約620㎡）

- ・**子どもをはじめとした来場者参加型の展示**や、兵庫の地域資源を「見て、触って楽しめる」実物展示など、兵庫棟とは異なる視点で兵庫の魅力を発信

- ・ミュージアムホールやアトリエ等を活用したイベントなども検討



県立美術館

※R5.3月に展示基本計画を策定、公表予定

ひょうごフィールドパビリオンをはじめ、歴史・文化・食など、兵庫が有する多彩な魅力を発信し、兵庫への誘客につなげる

ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①展示設計	展示設計		
②展示制作		展示制作	運営

3 「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信

・万博開催期間中、国際博覧会協会が実施するテーマウィークプロジェクトに連動し、**兵庫県が独自のテーマウィークを設定**し、県や企業、フィールドパビリオンプログラム提供者が万博会場や兵庫県立美術館等において、**テーマに応じたPR事業を展開**。

・併せて、市町や地域単位の情報発信などを集中的に行うイベントである**リージョナルデー「市町の日」を展開**し、県内各地の魅力を発信。

「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信

※R5年度は企画検討のみ（予算計上なし）
個別事業分は含まない

- 開催期間** 2025.4.13～10.13（万博期間）
- テーマ数** 国際博覧会協会のテーマウィークに連動し10テーマ程度
- 開催場所** 万博会場（兵庫棟）、兵庫県立美術館、県内各地



(1) テーマウィーク設定による発信

- ① 国内外との交流・シンクロイベント →P8
国際交流行事や万博関連行事・誘客イベント
 - ② 未来のショーケース事業 →P9
未来社会を実感できる最先端技術を特徴とする関連事業
 - ③ 兵庫がハブとなる取組 →P10
共通課題への解決策や連携できる魅力を持つ複数府県を兵庫が中心となって行う取組
- ✓ **テーマは、国際博覧会協会が設定する公式テーマを踏まえて設定予定（R5年春以降を予定）**
- ✓ **企画内容、企業等の参画方法等については今後調整予定**

(2) リージョナルデー（市町の日等）による発信

市町や地域単位の情報発信等を集中的に実施

＜事業例＞

- ・ 姉妹都市との交流イベント
- ・ 地元企業の技術発表、特産品の展示
- ・ 観光誘客イベント 等

✓ **市町の参画内容、参画方法等については今後調整予定**

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① イベント開催	企画立案	本開催に向けた準備	本開催
② 情報発信		機運醸成のための誌面連載、SNSでの発信	本開催の誌面連載、SNSでの発信

3 「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信

(1) テーマウィーク設定による発信

① 国内外との交流・シンクロイベント：国際交流行事や万博関連行事・誘客イベント

<現時点での取組み予定（主な個別事業）>

兵庫県独自のテーマ（案）	事業名【R5事業費】	内 容
ものづくり、地場産業	万博に向けた国際フロンティア産業メッセの開催【8百万円】	<p>・持続可能な未来社会の構築（SDGs）のコンセプトを背景に、2023年から3年間、万博に向けた特別テーマを設定するなど、企業や大学・研究機関による最先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示を中心に国内外のビジネス客との技術交流、ビジネスマッチング機会を提供</p>
豊かな森づくり	ウィーンの森、世界の森との交流【1百万円】	<p>・持続可能な森林環境の実現に向けて、世界の森づくり関係者と知見等を共有・議論 (例)世界の森づくりシンポジウムの開催 等</p>
県民スポーツ	マリンスポーツを活用した臨海部活性化【1百万円】	<p>・マリンスポーツに適した環境や活動拠点がある阪神南臨海部の特性を活かし、官民協働で地域が一体となり、マリンスポーツのメッカとしての知名度をエリア全体で向上させ、観光資源化を図る</p>



産業メッセ開催の様子



丹波の森・国際井戸端会議の様子





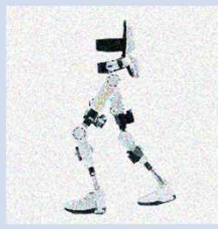

※個別事業の詳細は、個票を参照

3 「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信

(1) テーマウィーク設定による発信

② 未来のショーケース事業：未来社会を実感できる最先端技術を特徴とする関連事業

<現時点での取組み予定（主な個別事業）>

兵庫県独自の テーマ（案）	事業名 【R5事業費】	内 容
スタートアップ、イノベーション	次世代モビリティ（空飛ぶクルマ）の運航【87百万円】	<p>・空の移動革命をもたらす新たなモビリティへの関心が高まっており、2025年大阪・関西万博を契機に社会実装を全国に先駆けて進めるべく、事業者との連携のもと、取組みを進める</p>  <p>空飛ぶクルマ イメージ 出典：経済産業省</p>
カーボンニュートル社会の実現	水素旅客船の運行 ※R5年度は企画検討のみ（予算計上なし）	<p>・万博会場周辺での運行を視野に大阪湾ベイエリアへの水素旅客船の導入を検討する新規参入企業に向け、旅客船係留場所を県内に確保するなど運行に向けた支援を実施</p>   <p>出典：岩谷産業(株) 出典：アルマテック社</p>
医療	先端医療技術等の体験・普及啓発 ※R5年度は企画検討のみ（予算計上なし）	<p>・県立病院及び関係団体で実践・研究されている先端医療技術や特色ある取組みについて、実施体験を交えて広くPRし、未来の医療を体験できる場を創出</p>    <p>先端医療技術 イメージ</p>

※個別事業の詳細は、個票を参照

3 「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信

(1) テーマウィーク設定による発信

③ 兵庫がハブとなる取組：共通課題への解決策や連携できる魅力を持つ複数府県と兵庫が中心となって行う取組

<現時点での取組み予定（主な個別事業）>

* 今後、2025年に向けた連携府県との調整について検討

兵庫県独自のテーマ（案）	連携内容（例）	連携府県等
創造的復興	<ul style="list-style-type: none"> ・震災からの「創造的復興」の理念を国内外で共有化、次世代へ継承し、次なる災害に備えるための「創造的復興知事サミット（仮称）」の開催 	東北3県、 熊本県、新 潟県
瀬戸内、豊かで美しい里海	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かで美しい瀬戸内海の魅力を広く発信するための連携イベント ・県立美術館との連携イベント、岡山県、香川県との周遊クルーズの実証実験をはじめとした瀬戸内との広域観光連携 	瀬戸内海関係府県市
多様性ある農業	<ul style="list-style-type: none"> ・人と環境にやさしい農業の推進に向け、但馬地域が生んだ「コウノトリ育む農法」と他府県の環境配慮型農法の取組との連携イベント 	* 今後調整
御食国ひょうご	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産業に関する歴史、文化、地域活性化に向けた取組み等の発信に向け、兵庫県が世界に誇る但馬牛のPR拠点である兵庫県立但馬牧場公園・但馬牛博物館と他府県との連携イベント 	* 今後調整



人と防災未来センター



周遊クルーズルート例

4 「子どもの夢」プロジェクトの実施

・**万博という特別な機会に兵庫県の子どもたちが参加できる企画**を実施し、「未来に対してワクワクする」、「楽しく学び、その経験が未来につながる」など、今までに無い経験や新しい価値観に触れる機会を創出。

「子どもの夢」プロジェクトの実施 ※R5年度は企画検討のみ（予算計上なし）

検討の方向性

- **子どもたちの夢や発想を万博という機会に発信**できるプロジェクトを企画・展開



（例）

県内の小学生を対象に、万博と親和性の高いテーマで作品を募集し、万博期間中、兵庫県立美術館で展示 等

- あわせて、**中高生等が参加できるようなプロジェクト**も今後検討



※具体的な企画内容は、令和5年度に有識者の意見を踏まえ検討

万博に参加した子どもたちに、今までにない経験や新しい価値観に触れてもらうことで、兵庫をもっと好きになってもらう

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
プロジェクト企画等	企画	プロジェクト準備・実施(運営)	

5 機運醸成事業の実施

・万博開催に向けた機運を県内で盛り上げるため、**万博開催500日前等のカウントダウンイベント**、**兵庫の魅力発信**、**受け入れ環境整備**などの機運醸成事業を実施。

機運醸成事業の実施【R5年度事業費：7百万円】（個別事業分は含まない）

(1) カウントダウンイベント

万博開催に向けた機運を県内で盛り上げるため、**万博開催の500日前などの節目**にひょうごフィールドパビリオンの展開をはじめとした兵庫の取組みなど**万博を身近に感じてもらえるためのイベントを開催**

「大阪・関西万博」500日前イベントの開催

日時 令和5年11月30日（予定）

場所・内容 未定

<参考：万博開幕1000日前イベントの開催>

万博開幕の1000日前にあたる令和4年7月18日に兵庫の取組をPRするとともに、万博の機運醸成を目的としたイベントを開催

- ・日時：令和4年7月18日
- ・場所：兵庫県立美術館ギャラリー棟
1階ミュージアムホール・アトリエ1
- ・内容：知事基調講演 等

(2) 万博会場外駐車場隣接地の活用

万博期間中に多くの人々が利用する**尼崎フェニックス事業用地の万博会場外駐車場隣接地**を、パークアンドライドの乗り換えだけに終わらせず、**にぎわいづくりの場として有効活用**することを検討






県内各地での準備を着実にすすめ、兵庫全体で万博開催に向けた機運を盛り上げる

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
カウントダウンイベント	500日前イベント	100日前イベント	
万博会場外駐車場隣接地の活用	企画検討・事業者調整		本開催

5 機運醸成事業の実施

<現時点での取組み予定（主な個別事業）>

事業名 【R5事業費】	内 容
<p>多彩なメディアを活用した広報展開 【337百万円(内数)】</p>	<p>・県民だよりひょうごや情報番組、各種SNSなど多彩なメディアを活用し、万博開催に向け継続・定期的に発信</p>
<p>Cool Tradition Showcase in 兵庫津ミュージアム 【10百万円】</p>	<p>・博物館の非日常空間を活かし、兵庫五国の魅力を発信するショーケースイベント等を実施し、次代を担う若者・ファミリー層や観光客・ビジネス層など新ターゲットに訴求 ・兵庫の歴史・文化・産業に根ざした舞台芸術や体験イベントの実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">兵庫津ミュージアム はじまり館</p>
<p>兵庫テロワール旅誘客のための受け入れ環境整備 【32百万円】</p>	<p>・インバウンドの本格展開及び万博開催を見据え、体験型コンテンツのさらなる磨き上げを行い、誘客促進・受入環境充実を図り、ひょうごフィールドパビリオンにもつなげる ・また、体験型コンテンツを提供・販売する事業者に対し、旅行商品化等の販売活動及び受入環境の整備を支援</p>
<p>「農・食」「伝統産業」「歴史・文化」が創る北播磨ツーリズムの推進 【7百万円】</p>	<p>・兵庫DC・アフターDC、万博を見据え、北播磨の豊かな自然、多彩な農畜産物、伝統ある産業、歴史・文化等の地域資源を磨き上げながら、地域内外に魅力を発信</p>
<p>多様な人々が安心して万博に参加できる基盤づくり 【13百万円】</p>	<p>・すべての県民が障害の有無や言語、文化等の違いに関わりなく、安心して万博に参加できる基盤づくりを推進</p> <div style="text-align: right;">  </div>
<p>アクセス等ハード面での環境整備 【200百万円】</p>	<p>・クルーズ船やスーパーヨットの受入れ環境を整備し、兵庫県域の大阪湾バイエリアに人を呼び込む</p>

※個別事業の詳細は、個票を参照

6 推進体制の構築

- ・**県内41市町長、関係団体等が参画する推進協議会**を設置し、万博関連事業の情報共有による機運醸成を行う。
- ・推進協議会の下部組織として**企画委員会を設置**し、各事業展開にかかる企画立案を実施。
- ・ひょうごフィールドパビリオンのプロモーションに向けて、ストーリーのプログラムやSDGsの観点で説明できる、発信力のある方を**アンバサダーとして任命**し、プロモーション等の活動を行っていただく。

推進体制の構築【R5年度事業費：3百万円】

<推進体制イメージ>

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会(仮称)

R5.3設置(予定)

【所掌事務】

県実施事業・構成団体実施事業など**万博関連事業の情報共有**

【構成員】

知事、41市町長、商工会議所・商工会、金融機関、DMO・観光協会、旅行事業者、交通事業者、農漁業関係団体、双ミ、ひょうごフィールドパビリオンプログラム提供者 等

連携・調整

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進本部(庁内)

R4.6設置済

【所掌事務】

県万博関連事業の情報共有、県の取組みの推進

【構成員】

知事、全部長等、県民局・県民センター長
※推進協議会構成員である「兵庫県」における推進本部

ひょうごフィールドパビリオンアンバサダー

※推進協議会設置にあわせて第1弾任命予定

意見聴取



提言

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会企画委員会(仮称)

R5.3設置(予定)

【所掌事務】

万博に向けた以下事業の推進にかかる**企画検討**

- ①FPの磨き上げおよび国内外への広報・プロモーション
- ②万博会場「兵庫棟(仮称)」、県立美術館における展示内容
- ③万博開催前および開催期間中における各種イベント 等

【構成員】

現フィールドパビリオン検討コアメンバー会議委員、各分野専門家 等

県、市町、民間事業者等関係者と方向性を共有、連携し、オール兵庫での取組みを推進

III 施策体系別一覧

各事業展開に関するR5年度事業費 (個別事業分を含む県全体事業費)

区 分		R5年度事業費
1	ひょうごフィールドパビリオンの展開	2 5 1 百万円
2	兵庫棟（仮称）、兵庫県立美術館における展示	5 5 百万円
3	「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信	2 3 2 百万円
	国内外との交流・シンクロイベント	(7 5 百万円)
	未来のショーケース事業	(1 5 5 百万円)
	兵庫がハブとなる取組み	(2 百万円)
4	「子どもの夢」プロジェクト	—
5	機運醸成事業の実施	3 7 0 百万円
6	推進体制の構築	3 百万円
合 計		9 1 1 百万円

※万博関連事業（投資的経費を含む）を掲載し、予算の切り分けの困難なもの、再掲の事業費は含んでいない

IV ロードマップ

項目			2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
フィールドパビリオン	磨き上げ	<input type="checkbox"/> サポート人材発掘 <input type="checkbox"/> 人材育成研修 <input type="checkbox"/> 商品化支援施	人材発掘開始 → 順次、プログラム提供者の支援 研修の実施 モニターツアーの実施	後はファムトリップで対応	
	プロモーション	<input type="checkbox"/> 海外プロモーションの展開 <input type="checkbox"/> 国内プロモーションの展開 <input type="checkbox"/> 広報素材作成・WEBサイト等による情報発信	欧米豪中心 アジア中心	ファムトリップの実施 就航先プロモーション、ファムトリップ実施	素材作成、サイト構築、順次情報発信
展示	展示設計・展示制作		展示設計	展示制作	運営
テーマウィーク	イベント開催		企画立案	本開催に向けた準備	本開催
	情報発信			機運醸成のための誌面連載、SNSでの発信	本開催の誌面連載、SNSでの発信
「子どもの夢」プロジェクト	プロジェクト企画		企画	プロジェクト準備・実施(運営)	
	展示制作			展示制作	運営
機運醸成	カウントダウンイベント		500日前イベント	100日前イベント	
	万博会場外駐車場隣接地の活用		企画検討・事業者調整		本開催
推進体制	全県推進協議会等		随時開催	随時開催	随時開催
	アンバサダーの設置		アンバサダーの随時活用	アンバサダーの随時活用	アンバサダーの随時活用

V 万博に向けた兵庫の取組みのKPI

- ・万博に向けた兵庫の取組みの具体的な**成果指標（KPI）**をアクションプランにあわせて設定。
- ・観光としての誘客にとどまらず、シビックプライドの醸成、次世代を担う人材の育成、万博を身近に感じてもらうなど**ポスト万博を見据えた豊かな兵庫の実現に向けた指標を設定。**

		項目	KPI	設定の考え方
定性	1	ひょうご フィールド パビリオン	プログラム提供者の満足度 「取組に自信が持てた」と思うプログラム提供者の割合 80%	地域の人自らが発信することが、将来的な誇り、シビックプライドにつながる
	2		地域への波及効果 「自らの取組が地域活性化に貢献できた」と思うプログラム提供者の割合 80%	フィールドパビリオンの取組みが、自身や来場者に影響するだけでなく、地域へも波及することをめざす
	3		来場者の満足度 「SDGsの理解が深まった」と思う来場者の割合 80%	来場者が地域でSDGsについて学ぶことが、フィールドパビリオンの価値向上につながる
	4		来場者の満足度 「兵庫をまた訪れたい」と思う来場者の割合 80%	リピーターが増えることで、誘客促進につながる
	5	兵庫県版 テーマ ウィーク	出展者の満足度 「万博を感じる事ができた」と思う出展者の割合80%	自ら万博会場への出展ができない方にも、万博を身近に感じてもらう
	6	「子どもの夢」プロジェクト	参加者(子供)の満足度 兵庫がもっと好きになったと思う子供の割合80%	次世代を担う子供たちに兵庫を好きになってもらう
定量	7	兵庫棟(仮称)・兵庫県立美術館	万博開催期間中の来場者数 100万人 (兵庫棟(仮称) 40万人) (県立美術館 60万人)	展示やイベント等を通じてフィールドパビリオンをはじめとした兵庫の魅力を発信し、1人でも多くの来場者に兵庫の魅力を印象づけることが兵庫へ向かうきっかけとなる
	8	ひょうご フィールド パビリオン	経済効果 ひょうごフィールドパビリオンによる観光消費額 _____億円 ※目標数値は、フィールドパビリオンプログラム認定後に設定予定	フィールドパビリオンへの誘客により、地域の観光消費額の増加を図る